

## 第1回「内部被ばく影響評価」委員会 議事録

日時：平成27年9月14日（月） 13：00－14：45

場所：TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター カンファレンスルーム 4W

出席者（敬称略）：

（委員）甲斐、佐藤、反町、松本、石川（委員長）

（オブザーバー）森口、伴、大原、鶴田、高木

### 【議題】

1. 出席者紹介
2. 本委員会設立の趣旨
3. 意見交換
  3. 1 各委員の役割分担について
  3. 2 平成27年度新規採択 環境研究総合推進費 5-1501「原発事故により放出された大気中微粒子等のばく露評価とリスク評価のための学際研究」との連携について

### 【配布資料】

資料1 内部被ばく影響評価委員会

資料2 放射性物質による内部被ばくについて

資料3 被ばく評価に関する国際学術誌の抄録

資料4 平成27年度新規採択 環境研究総合推進費 5-1501「原発事故により放出された大気中微粒子等のばく露評価とリスク評価のための学際研究」サブテーマ4: 微粒子性状および短寿命核種の寄与を考慮した線量評価の精緻化

### 【議事】

1. 出席者紹介（資料1）
2. 本委員会設立の趣旨（資料2、3）

内部被ばくの線量評価法に関して、社会の中で議論がある状況を踏まえて、内部被ばく線量およびその影響評価に関するレビュー論文をまとめることを目的として本委員会が設置された旨の説明がなされた。
3. 意見交換
  3. 1 各委員の役割分担について（資料1）

趣旨説明を受けて委員による意見交換を行った。各委員がレビューを行う担当分野について、趣意書にあるキーワードに対応して、およそ次のような分担とした。なお対象とする核種については、ヨウ素、セシウムを中心とし、場合によってはストロンチウムまで広げる方向で検討することとした。

佐藤・・・臓器平均吸収線量、放射線加重係数

反町・・・福島における内部被ばく評価の現状と課題（一部、石川と分担）  
松本・・・実効線量計算のための標準人、個人差、体内動態モデルの不確かさ  
甲斐・山口・・・内部被ばくのがんリスクと線量との関係、まとめと課題  
石川・・・現行の内部被ばく線量評価法の概要（預託線量、組織加重係数）

来年度の日本保健物理学会研究発表会（弘前）で、レビューの概要を発表することを想定して、発表申込み時期（例年 2 月）の前までに、メールでの情報交換を行いながら、各委員である程度のレビューの構想をまとめておくこととした。またこれに合わせて、次回の委員会開催時期は来年 1 月頃を目途にすることとした。

3. 2 平成 27 年度新規採択 環境研究総合推進費 5-1501「原発事故により放出された大気中微粒子等のばく露評価とリスク評価のための学際研究」との連携について（資料 4）

同研究プロジェクトと本学会が連携していくことが可能かを検討するために、関係する先生方にオブザーバーとして出席していただき、議論を行った。

最初に、同研究プロジェクトのサブテーマ 4「微粒子性状および短寿命核種の寄与を考慮した線量評価の精緻化」の概要について説明があり、その後オブザーバーの先生方を含めて意見交換を行った。

この議論の結果を受けて今後、本サブテーマを学会として引き受けて実施していくことが可能かどうかを保物学会として検討を行うこととした。受けることが可能であれば、11 月の日本保健物理学会理事会に諮るスケジュールで調整することとした。

以上